

墨田区無電柱化整備計画（概要版）

1 無電柱化の推進に関する基本事項の整理

- ・平成30年6月に策定した「墨田区無電柱化基本方針」は、区が目指すまちづくりの将来像の実現に向け、区道の無電柱化を計画的かつ効率的に推進するための方向性を示すものである。
- ・限られた財源の中で、区道の無電柱化を区民や関係事業者の協力を得ながら、計画的かつ効率的に推進していくために「墨田区無電柱化整備計画」を策定する。
- ・本整備計画は、基本方針に合致する路線についての計画であり、今後はこれに基づき無電柱化整備を推進していく。

2 無電柱化対象路線の選定

- ・墨田区無電柱化基本方針に定めた以下の3つの方針に合致する区道を「無電柱化対象路線」として選定した。
- ・選定した路線を別紙「無電柱化対象路線一覧表」及び右の「無電柱化対象路線図」に示す。

方針 都市防災機能の強化

一般緊急輸送道路
災害時に拠点となる施設に面する路線 (災害拠点病院、災害拠点連携病院、警察署、消防署、救出救助拠点)
避難路(区が耐震改修促進法第6条第3項第2号に基づき指定する道路)
土地区画整理事業、市街地再開発事業で整備する路線
無電柱化路線の連続性(ネットワーク)の観点から整備が必要な路線

方針 安全で快適な歩行空間の確保

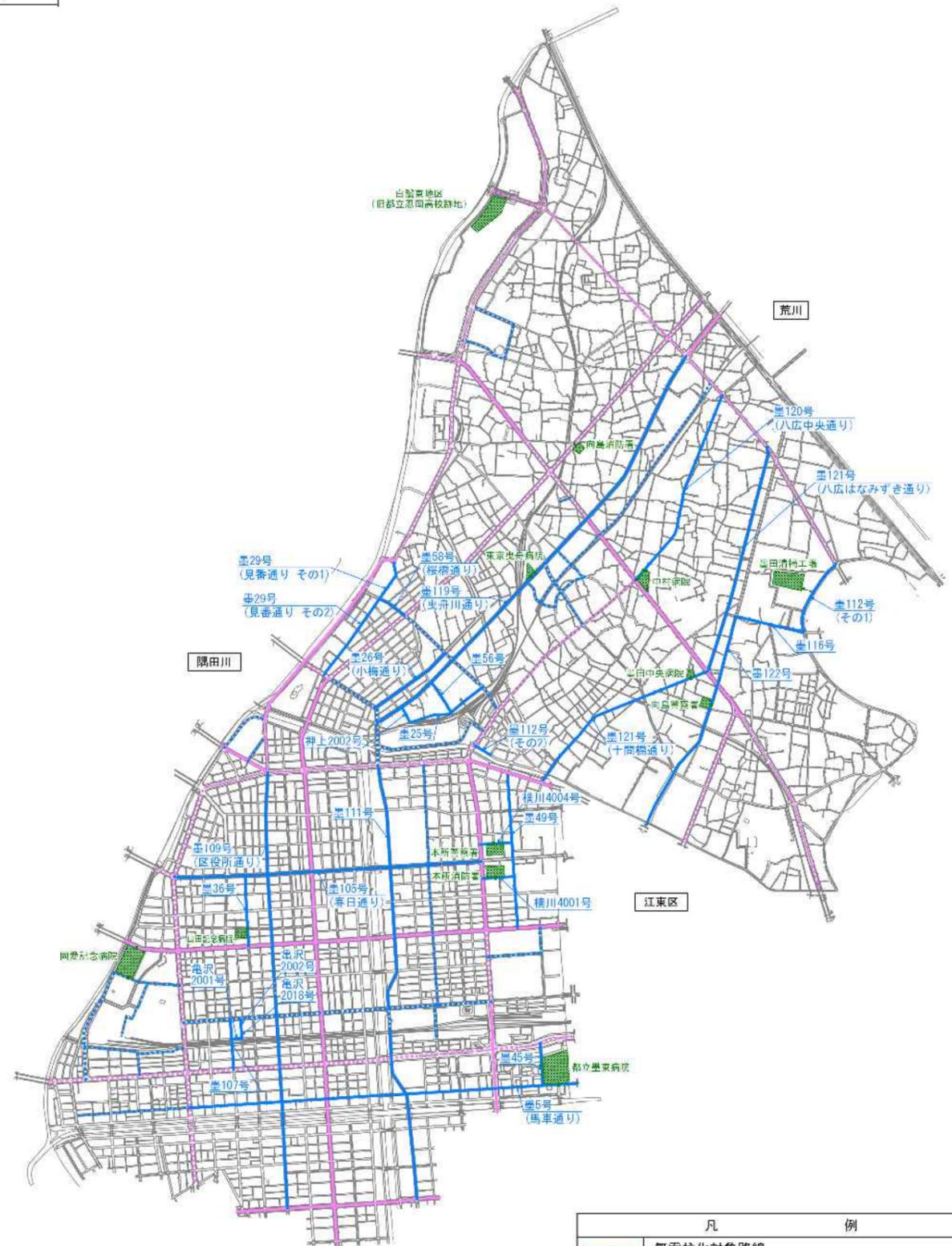
都市計画事業や道路事業で新設、拡幅する路線
土地区画整理事業、市街地再開発事業で整備する路線 【再掲】
「墨田区交通バリアフリー基本構想」及び「墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画」に位置付けられている路線
無電柱化路線の連続性(ネットワーク)の観点から整備が必要な路線 【再掲】

方針 良好な都市景観の創出

墨田区景観計画における景観形成重点地区(候補地含む)の主要な路線 (亀沢地区、押上・業平橋駅周辺地区地区計画区域(候補地)、向島料亭街(候補地))
無電柱化路線の連続性(ネットワーク)の観点から整備が必要な路線 【再掲】

無電柱化対象路線として28路線を選定

無電柱化対象路線図



凡	例
— (Solid Blue)	無電柱化対象路線
- - - (Dashed Blue)	無電柱化整備済み・整備中(区道)
— (Solid Pink)	国道・都道
- - - (Dashed Pink)	無電柱化整備済み・整備中(国道・都道)
■ (Green)	災害時に拠点となる施設 (災害拠点病院・災害拠点連携病院、警察署、消防署、救出救助拠点)

3 実施に向けた取組み

(1) 道路状況や沿道状況に応じた手法を活用して無電柱化を実施する。

- ・区が自ら無電柱化を実施する電線共同溝方式だけでなく、電線管理者が無電柱化を実施する単独地中化方式をはじめ、様々な手法を活用しながら無電柱化を推進する。
- ・国、都、事業者による技術開発の進展を踏まえ、道路状況等に応じた低コスト手法（浅層埋設方式、直接埋設方式、小型ボックス活用埋設方式など）や新材料の導入を積極的に採用し、事業費縮減や工事期間短縮に努める。
- ・歩道幅員が狭い路線については、地下埋設物の干渉が少ない小型ボックス活用埋設方式やソフト地中化などの、新たな手法の実用化状況を踏まえた無電柱化を実施する。

(2) 効果的・効率的に無電柱化を実施する。

- ・都市計画道路等の新設又は拡幅事業を行う場合や、市街地再開発事業等の面的整備において区道を整備する場合は、無電柱化の同時施工を推進し、効果的・効率的な無電柱化を実施する。
- ・既に無電柱化が完了している道路との連続性（ネットワーク）に配慮した無電柱化を推進し、効果的な無電柱化を実施する。

(3) 計画期間と整備目標

計画期間

令和元年度から令和7年度までの期間（7年間）

「墨田区基本計画」と整合を図る。



「墨田区基本計画」に合わせ適宜、見直しを実施する。

目標1

押上・とうきょうスカイツリー駅周辺地区の主要生活道路の無電柱化に着手

具体的な路線：墨25号路線、墨56号路線、押上2002号路線

目標2

「東京都無電柱化チャレンジ支援事業制度」を活用した無電柱化に着手

具体的な路線：墨29号路線（見番通りその1）

4 無電柱化の課題解決に向けた取組み

(1) 事業費の縮減と工事期間の短縮

- ・無電柱化対象路線（28路線）を類似する4つのモデルケースに分類し、浅層埋設方式や小型ボックス活用埋設方式の低コスト手法による事業効果を検証するため、他の整備事例等を参考に算出した概算工事費単価、単位施工日数に基づき、各路線の概算工事費、概算工事期間を算出した。その値を資料1「無電柱化対象路線一覧表」に示す。

	モデルケースの設定	整備手法	概算工事費単価	単位施工日数
モデルケース1	歩道幅員2.5m以上の道路	浅層埋設+小型ボックス活用埋設方式	4.8億円/km	470日/km
モデルケース2	歩道幅員2.5m未満の道路	小型ボックス活用埋設方式	4.8億円/km	400日/km
モデルケース3	大規模な幹線道路	浅層埋設方式	4.8億円/km	530日/km
モデルケース4	他の道路事業との連携が図られる道路	小型ボックス活用埋設方式（同時施行）	3.6億円/km	400日/km

- ・結果、低コスト手法の場合は従来の電線共同溝方式と比較し、全体の概算工事費は25.9億円の減（-11.9%減）、概算工事期間は22.6年の減（-22.0%減）となるため、今後、整備に当たっては低コスト手法の導入を図っていく。

	概算工事費	概算工事期間（240日/年換算）
電線共同溝方式で整備した場合	216.2億円	24,480日（102.0年）
低コスト手法で整備した場合	190.3億円	19,044日（79.4年）
縮減・短縮効果	25.9億円	5,436日（22.6年）

ただし、設計費、道路整備費は含まない。

(2) 地上機器の設置等の工夫

- ・歩道幅員が狭い又は歩道の無い道路の無電柱化を実施する場合、地上機器の道路区域外（民地を含む）への設置やソフト地中化方式を活用するなど、歩行空間の安全確保に努める。

(3) 道路管理者以外の無電柱化整備への協力

- ・国が「官民連携無電柱化支援事業」を創設したことから、道路管理者が実施する道路事業等に合わせて、電線管理者が自ら無電柱化（単独地中化方式）を実施する場合、国庫交付金等の財政支援を行うことが可能となったため、電線管理者と協力し、無電柱化を推進する。

(4) 新たな電柱の占用禁止

- ・道路法第37条（占用の制限）の適用については、法改正の趣旨も踏まえ、引き続き国等の動向に注視し、検討を進める。

無電柱化対象路線一覧表

番号	路線名(愛称名)	区間	方針 防 災	方針 安全快適	方針 都市景観	選定理由 (~ : 各方針の番号に該当)	道路延長 (km)	モデル ケース	概算 工事費 (億円)	概算 工事期間 (日)
1	墨5号(馬車通り)	都道463号~終点	○			災害拠点病院(都立墨東病院)に面する路線	1.9 0.1	ケース4 ケース1	13.7 1.0	1,520 94
2	墨25号	押上2002号~墨58号		○	○	都市計画事業等で整備する路線 景観形成重点地区(押上・業平橋駅周辺地区)(候補地)の主要な路線	0.2 0.2	ケース1 ケース4	1.9 1.9	188 160
3	墨26号(小梅通り)	起点~墨58号		○	○	バリアフリー特定経路 景観形成重点地区(押上・業平橋駅周辺地区)(候補地)の主要な路線	0.5	ケース3	4.8	530
4	墨29号(見番通りその1)	墨58号~終点			○	景観形成重点地区(向島料亭街)(候補地)の主要な路線	0.3	ケース4	2.2	240
5	墨29号(見番通りその2)	起点~墨58号		○	○	バリアフリー特定経路 景観形成重点地区(向島料亭街)(候補地)の主要な路線	0.5	ケース1	4.8	470
6	墨36号	都道315号~墨105号	○			災害拠点連携病院(山田記念病院)に面する路線	0.4	ケース1	3.8	376
7	墨45号	全線	○			災害拠点病院(都立墨東病院)に面する路線	0.2	ケース1	1.9	188
8	墨49号	全線		○		バリアフリー特定経路	0.8	ケース1	7.7	752
9	墨56号	墨119号交差点~終点		○	○	都市計画事業等で整備する路線 景観形成重点地区(押上・業平橋駅周辺地区)(候補地)の主要な路線	0.2	ケース1	1.9	188
10	墨58号(桜橋通り)	墨29号~国道6号			○	景観形成重点地区(向島料亭街)(候補地)の主要な路線	0.2	ケース1	1.9	188
11	墨105号(春日通り)	起点~都道465号		○		バリアフリーネットワーク路線	1.6	ケース3	15.4	1,696
12	墨107号	国道14号~墨104号		○		バリアフリー特定経路	0.3	ケース1	2.9	282
13	墨109号(区役所通り)	全線		○	○	バリアフリーネットワーク路線 景観形成重点地区(亀沢地区)の主要な路線	2.2	ケース1	21.1	2,068
14	墨111号	全線(一部、無電柱化済み区間を除く。)		○		バリアフリー特定経路、バリアフリーネットワーク路線	2.2	ケース1	21.1	2,068
15	墨112号(その1)	墨116号~都道449号	○			一般緊急輸送道路、救出救助拠点(墨田清掃工場)に面する路線	0.4	ケース1	3.8	376
16	墨112号(その2)	都道465号~押上1010号		○		バリアフリー準特定経路	0.1	ケース2	1.0	80
17	墨116号	墨122号~墨112号	○			一般緊急輸送道路	0.4	ケース2	3.8	320
18	墨119号(曳舟川通り)	全線(片側のみ整備済み区間を含む。)	○	○	○	災害拠点病院(東京曳舟病院)に面する路線 都市計画事業等で整備する路線 景観形成重点地区(押上・業平橋駅周辺地区)(候補地)の主要な路線	2.5	ケース3	23.0	2,544
19	墨120号(八広中央通り)	都道306号~都道449号	○			避難路、災害拠点連携病院(中村病院)に面する路線	1.1	ケース2	10.6	880
20	墨121号(十間橋通り)	起点~都道306号	○	○		災害拠点連携病院(墨田中央病院)に面する路線 都市計画事業等で整備する路線	1.0	ケース1	9.6	940
21	墨121号(八広はなみずき通り)	都道306号~都道449号	○			避難路	1.2	ケース1	11.5	1,128
22	墨122号	都道306号~墨116号	○			一般緊急輸送道路、警視庁向島警察署に面する路線	1.2	ケース1	11.5	1,128
23	亀沢2001号	起点~亀沢2018号		○		バリアフリー準特定経路	0.1	ケース2	1.0	80
24	亀沢2002号	全線		○		バリアフリー準特定経路	0.1	ケース2	1.0	80
25	亀沢2018号	全線		○		バリアフリー準特定経路	0.1	ケース2	1.0	80
26	横川4001号	全線	○			警視庁本所警察署に面する路線	0.2	ケース2	1.9	160
27	横川4004号	全線	○			東京消防庁本所消防署に面する路線	0.2	ケース2	1.9	160
28	押上2002号	全線		○	○	都市計画事業等で整備する路線 景観形成重点地区(押上・業平橋駅周辺地区)(候補地)の主要な路線	0.1	ケース4	0.7	80
整備対象路線 合計						整備延長 : 20.3 km × 2 (両側) + 0.2 km (片側) = 40.8 km	20.5		190.3	19,044

概算工事費には、設計費、道路整備費を含まず